



誰もが住んでみたい村に  
農業農村整備

令和 6 年度

沖永良部農業水利事業

沖永良部地下ダム設計技術検討業務

# 積 算 書

( 当初 )

九州農政局  
沖永良部農業水利事業所

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局

九州農政局



九州農政局

[illegible]

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	沖永良部地下ダム設計技術検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単 - 1号 ***					
S63003	資料の検討及び業務作業計画の策定 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 0.00人 2.00人 3.00人 3.00人 0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師 ( A )	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師 ( B )	3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 ( C )	3.000	人	38,400	115,200	
	合 計				370,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		370,800	
	*** S単 - 2号 ***					
S63003	現地調査 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 1.00人 4.00人 4.00人 4.00人 0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 ( A )	4.000	人	57,000	228,000	
R04005	技師 ( B )	4.000	人	47,200	188,800	
R04006	技師 ( C )	4.000	人	38,400	153,600	
	合 計				635,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		635,200	
	*** S単 - 3号 ***					
S63003	パイロット孔施工結果の評価検証 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数 3)主任技師の人数 4)技師Aの人数 5)技師Bの人数 6)技師Cの人数 7)技術員の数	0.00人 0.00人 0.00人 12.00人 12.00人 8.00人 0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師 ( A )	12.000	人	57,000	684,000	
R04005	技師 ( B )	12.000	人	47,200	566,400	
R04006	技師 ( C )	8.000	人	38,400	307,200	
	合 計				1,557,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,557,600	
	*** S単 - 4号 ***					
S63003	追加孔の検討 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	沖永良部地下ダム設計技術検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	15.00人				
	5)技師Bの人数	15.00人				
	6)技師Cの人数	10.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 ( A )	15.000	人	57,000	855,000	
R04005	技師 ( B )	15.000	人	47,200	708,000	
R04006	技師 ( C )	10.000	人	38,400	384,000	
	合 計				1,947,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,947,000	
	*** S単 - 5号 ***					
S63003	列完了判断		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	15.00人				
	5)技師Bの人数	15.00人				
	6)技師Cの人数	5.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 ( A )	15.000	人	57,000	855,000	
R04005	技師 ( B )	15.000	人	47,200	708,000	
R04006	技師 ( C )	5.000	人	38,400	192,000	
	合 計				1,755,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,755,000	
	*** S単 - 6号 ***					
S63003	チェック孔計画		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	12.00人				
	5)技師Bの人数	12.00人				
	6)技師Cの人数	12.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 ( A )	12.000	人	57,000	684,000	
R04005	技師 ( B )	12.000	人	47,200	566,400	
R04006	技師 ( C )	12.000	人	38,400	460,800	
	合 計				1,711,200	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,711,200	
	*** S単 - 7号 ***					
S63003	チェック孔による評価		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.00人				
	5)技師Bの人数	6.00人				
	6)技師Cの人数	6.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	沖永良部地下ダム設計技術検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R04004	技師 ( A )	6.000	人	57,000	342,000	
R04005	技師 ( B )	6.000	人	47,200	283,200	
R04006	技師 ( C )	6.000	人	38,400	230,400	
	合 計				855,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		855,600	
	*** S 単 - 8号 ***					
S63003	グラウチング改良効果の評価 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	6.00人				
	5)技師 B の人数	6.00人				
	6)技師 C の人数	6.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04004	技師 ( A )	6.000	人	57,000	342,000	
R04005	技師 ( B )	6.000	人	47,200	283,200	
R04006	技師 ( C )	6.000	人	38,400	230,400	
	合 計				855,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		855,600	
	*** S 単 - 9号 ***					
S63003	照査 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	3.00人				
	5)技師 B の人数	0.00人				
	6)技師 C の人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 ( A )	3.000	人	57,000	171,000	
	合 計				235,800	算出数量 1.000 式
	単 価		式		235,800	
	*** S 単 - 10号 ***					
S63003	点検取りまとめ 設計労務(直接人件費内業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技術者の人数	0.00人		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師 A の人数	1.50人				
	5)技師 B の人数	3.00人				
	6)技師 C の人数	3.00人				
	7)技術員の数	3.00人				
R04004	技師 ( A )	1.500	人	57,000	85,500	
R04005	技師 ( B )	3.000	人	47,200	141,600	
R04006	技師 ( C )	3.000	人	38,400	115,200	
R04007	技術員	3.000	人	33,600	100,800	
	合 計				443,100	算出数量 1.000 式

事業名	沖永良部農業水利事業
業務名	沖永良部地下ダム設計技術検討業務

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価		式		443,100	
	*** S単 - 11号 ***					
S63010	打合せ（設計業務基準日額）		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	着手前・最終		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.000日				
R04003	主任技師					
		0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師(A)					
		0.500	人	57,000	28,500	
	合 計				60,900	算出数量 1,000 回
	単 価		回		60,900	
	*** S単 - 12号 ***					
S63010	打合せ（設計業務基準日額）		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ（設計業務基準日額） 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,1日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	中間		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	1.000日				
R04004	技師(A)					
		1.500	人	57,000	85,500	
R04005	技師(B)					
		1.500	人	47,200	70,800	
	合 計				156,300	算出数量 1,000 回
	単 価		回		156,300	
	*** S単 - 13号 ***					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費）		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種,中間,滞在して打合せ,乙地,なし,一般交通機関,0日,,100km L(100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	1.00日				
	9)宿泊区分	滞在して打合せ				
	10)宿泊地	乙地				
	11)補正区分	なし				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金(税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	15)バス往復1人当料金(税別)	7,381円				
	16)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金(税別)	69,700円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	100km L(100km以上)				
P54203	設計用技師(A)日当 消費税抜き					
		2.000	人	2,000	4,000	
P54204	設計用技師(B)日当 消費税抜き					
		2.000	人	2,000	4,000	
P54003	設計用技師(A)宿泊費 (乙地)消費税抜き(6級相当)					
		1.000	人	8,909	8,909	

九州農政局

令和6年度沖永良部農業水利事業  
沖永良部地下ダム設計技術検討業務

特別仕様書

九州農政局  
沖永良部農業水利事業所



## 第1章 総則

### 第1－1条（適用範囲）

令和6年度沖永良部農業水利事業 沖永良部地下ダム設計技術検討業務の施行に当たっては、「設計業務共通仕様書」（以下「設計共通仕様書」という。）によるほか、設計共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

### 第1－2条（目的）

本業務は、沖永良部農業水利事業の一環として建設される沖永良部地下ダムにおける地下ダムグラウチング（その2）工事の施工仕様等の検討及び評価を行うものである。

### 第1－3条（場所）

本業務位置は、鹿児島県大島郡知名町大字余多地内であり、別紙1「位置図等」に示すとおりである。

### 第1－4条（業務概要）

本業務の概要は次のとおりであり、詳細は第3章に示すものとする。

- ・地下ダムグラウチング（その2）工事の施工仕様等の検討及び評価

### 第1－5条（低入札価格契約における第三者照査）

- 1 予算決算及び会計令（以下「予決令」という。）第85条の基準に基づく価格（以下「調査基準価格」という。）を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「設計共通仕様書第1－7条 照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において設計共通仕様書を基本とする第三者の照査（以下「第三者照査」という。）を実施しなければならない。

#### 2 第三者照査の企業に要求される資格

- （1）予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当していないこと。
- （2）九州農政局において、令和5・6年度（建設コンサルタント）の一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていること。
- （3）九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
- （4）設計共通仕様書第1－30条 守秘義務を遵守できるものであること。
- （5）中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。

なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

#### ① 資本関係

- （ア）親会社と子会社の関係にある
- （イ）親会社を同じくする子会社同士の関係にある

#### ② 人的関係

- （ア）一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている

3 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格

第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下の者であること。

- 照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
- 照査技術者と同等の技術者資格を有する者

4 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

5 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

6 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い

第4－1条 業務打合せに示す打合せのうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

7 第三者照査の照査技術者のAGRIS 登録

設計共通仕様書第1－12条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス（AGRIS）の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

8 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものであるときは、業務請負契約書第41条のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができるものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

第1－6条（履行確実性評価の達成状況の確認）

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- ① 審査項目 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- ② 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- ③ その他、業務計画書等示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- ④ 業務成果品のミス、不備 等

#### 第 1－7 条（一般事項）

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- （１）受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速かにこれに応じるものとする。
- （２）本特別仕様書及び共通仕様書に明記されていない事項であっても、本業務実施上、特に判断を要するものは監督職員の指示を受けるものとする。

#### 第 1－8 条（管理技術者）

- 1 管理技術者は、設計共通仕様書第 1－6 条第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木、農業農村工学
博士	農学	
シビルコンサルティング グマネージャー	農業土木	

#### 第 1－9 条（照査技術者）

- （１）照査技術者は、設計共通仕様書第 1－7 条第 2 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選 択 科 目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木、農業農村工学
博士	農学	
シビルコンサルティング グマネージャー	農業土木	

- （２）本業務における照査は、「設計業務照査の手引書（案）」（以下「照査手引書」という。）に基づき実施する。

また、「照査手引書」に基づく照査により作成した資料は、設計共通仕様書第 1－7 条第 5 項に規定する報告書に含めて提出するものとする。

- （３）当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

#### 第 1－10 条（担当技術者）

担当技術者は、設計共通仕様書第 1－8 条によるものとする。

#### 第 1－11 条（配置技術者の確認）

設計共通仕様書第 1－11 条における業務組織計画の作成及び設計共通仕様書第 1－12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- （１）受注者は、業務計画書及び作業計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。

なお、業務組織計画を変更する際も同様とする。

- （２）農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計

画書及び作業計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者等を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

#### 第1－12条（保険加入）

受注者は、設計共通仕様書第1－37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

## 第2章 作業条件

#### 第2－1条（適用する図書）

設計の基本的事項に関しては、「地下ダムによる水資源開発の手引き」（独立行政法人緑資源機構 平成18年12月）及び「土地改良事業計画設計基準・設計 ダム」（平成15年4月）を優先して適用する。

他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

#### 第2－2条（設計条件）

設計作業における設計条件等は、次のとおりである。

##### （1）沖永良部地下ダム諸元

- 1) ① 満水位標高 EL. 19.00m
- ② 根入れ長さ L = 1.00m
- ③ 設計基盤透水係数  $k = 1.00E-05\text{cm/sec}$

##### 2) SMW工法（既設止水壁）

- ① 設計透水係数  $k = 1.00E-06\text{cm/sec}$
- ② 止水壁厚さ（平均）  $b = 0.50\text{m}$
- ③ 設計杭径  $\phi 0.55\text{m}$

#### 第2－3条（参考図書）

設計作業の参考にする図書は、設計共通仕様書第2－1条によるものとする。

#### 第2－4条（貸与資料）

貸与資料は次のとおりである。

分 類	資 料 名	数 量
設 計	令和5年度 地下ダム施工技術検討業務 報告書	一式
	令和5年度 地下ダム取水解析等検討業務 報告書	一式
	令和4年度 地下ダム設計業務 報告書	一式
	令和3年度 地下水挙動把握業務 報告書	一式
調 査	平成27年度 地下ダム軸地質調査（その9）業務 報告書	一式
	平成27年度 地下ダム軸地質調査（その11）業務 報告書	一式
	平成27年度 地下ダム軸地質調査（その12）業務 報告書	一式
	平成28年度 地下ダム地質総合とりまとめ業務 報告書	一式

	令和3年度 地下ダム地質調査（その1）業務 報告書	一式
	令和3年度 地下ダム地質調査（その2）業務 報告書	一式
	令和3年度 地下ダム地質調査（その3）業務 報告書	一式
	令和3年度 地下ダム地質調査（その4）業務 報告書	一式
	令和4年度 地下ダム地質調査（その5）業務 報告書	一式
施 工	地下ダム2－2工区止水壁施工管理資料	一式

#### 第2－5条（参考図書及び貸与資料の取扱い）

第2－3条、第2－4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは次のとおりとする。

- （1）参考図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- （2）参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- （3）貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。
- （4）貸与資料に不足があった場合については、必要な貸与資料を監督職員に請求するものとする。

#### 第2－6条（関連業務等）

本業務と関連する他業務又は工事は次のとおりであり、監督職員及び関連業務・工事の管理技術者等と連携を密にして、互いに協調の図られた業務成果としなければならない。

業務・工事名	履行期間	備 考
令和6年度沖永良部農業水利事業 地下水位観測等調査業務	令和6年4月17日 ～令和7年3月21日	
令和6年度沖永良部農業水利事業 地下ダム施工技術検討業務	令和6年5月14日 ～令和7年3月14日	
令和6年度沖永良部農業水利事業 沖永良部地下ダム技術検証業務	令和6年8月9日 ～令和7年3月10日	
令和6年度沖永良部農業水利事業 地下ダムグラウチング（その2）工事	令和6年8月9日 ～令和7年3月19日	

### 第3章 設計作業内容

#### 第3－1条（設計作業項目及び数量）

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙2「作業項目内訳表」（該当項目）に○印で示すものとする。

作 業 項 目	数 量	備 考
地下ダムグラウチング（その2）工事の施工仕様等の検討 及び評価		
（1）パイロット孔施工結果の評価・検証	7 孔	
（2）追加孔の検討	1 式	
（3）列完了判断	1 式	
（4）チェック孔計画	3 BL	
（5）チェック孔による評価	1 0 孔	
（6）グラウチング改良効果の評価	1 式	

### 第3-2条（設計作業の留意点）

設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- （1）設計に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- （2）第2-4条、第2-5条及び設計共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- （3）グラウチング施工結果の評価、検証作業に当たっては、各施工段階における評価、検証結果をその都度報告することとし、第4-1条に示す段階以外でも、必要に応じ、監督職員と打合せを実施するものとする。
- （4）業務の最終打合せ時において、成果物のうち照査報告書については、照査を実施した照査技術者自身による報告を原則とする。

また、最終打合せ時以外にあっても、必要に応じて、照査技術者自身からの照査報告を実施できるものとする。

## 第4章 打合せ

### 第4-1条（打合せ）

- （1）設計共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階に行う予定としており、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 業務計画書作成段階〔ウェブ会議〕

第2回 中間打合せ（パイロット孔施工結果取りまとめ段階）〔対面会議〕

第3回 中間打合せ（チェック孔計画段階）〔対面会議〕

最終回 報告書原稿作成段階〔ウェブ会議〕

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ簿を作成し、上記の打合せの都度、内容について監督職員と相互にするものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、契約変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、設計共通仕様書第1-10条に定める作業計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

- （2）第2回及び第3回以外の打合せは、ウェブ会議方式によるものとするが、必要がある場合は、監督職員と協議の上、対面による打合せに変更することができる。

## 第5章 成果物

### 第5-1条（成果物）

本業務は電子納品対象業務とする。成果物を設計共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- （1）成果物の電子媒体（CD-R又はDVD-R）正副2部
- （2）成果物の出力 1部（電子媒体の出力、市販のA4ファイル綴じで可）

## 第5－2条（成果物の提出先）

成果物の提出先は、次のとおりとする。

鹿児島県大島郡知名町知名85番地

九州農政局 沖永良部農業水利事業所

## 第6章 業務管理

### 第6－1条（情報共有システム）

- （1）本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、事務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。
- （2）情報共有システムは、「工事及び業務の情報共有システム活用要領」（<https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/ASP/index.html>）によるものとする。
- （3）受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用にあたっての評価を行うために聞き取り調査等を求められた場合、これに協力しなければならない。

## 第7章 契約変更

### 第7－1条（契約変更）

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- （1）第2－2条に示す「設計条件」に変更が生じた場合。
- （2）第3－1条に示す「設計作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- （3）第4－1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- （4）第5－1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- （5）履行期間の変更が生じた場合。
- （6）関係機関等対外的協議等により設計計画等に変更が生じた場合。
- （7）その他

## 第8章 定めなき事項

### 第8－1条（定めなき事項）

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。





計画平面図

S=1:500

地下水観測孔座標表

孔 番	X	Y
2-1K-9	-624735.767	-87087.820
2-1K-10	-624735.659	-87085.823
2-2K-18	-624752.752	-87086.275
2-2K-19	-624754.883	-87094.882
2-2K-20	-624757.327	-87094.028
2-2K-21	-624759.940	-87103.396
2-2K-22	-624762.077	-87102.198
2-2K-23	-624765.132	-87112.866
2-2K-24	-624767.052	-87111.786
2-2K-25	-624769.885	-87121.552
2-2K-26	-624772.373	-87120.673
2-2K-27	-624773.478	-87129.980
2-2K-28	-624776.629	-87128.816
2-2K-29	-624778.684	-87147.841
2-2K-30	-624783.356	-87146.059
2-2K-31	-624782.249	-87157.185
2-2K-32	-624786.920	-87155.403
2-2K-33	-624785.813	-87166.528
2-2K-34	-624790.485	-87164.746
2-2K-35	-624789.377	-87175.871
2-2K-36	-624794.049	-87174.089
2-2K-37	-624792.941	-87185.214
2-2K-38	-624797.613	-87183.432
2-2K-39	-624796.506	-87194.558
2-2K-40	-624801.177	-87192.775
2-2K-5	-624801.260	-87202.813
2-2K-41	-624803.630	-87213.235
2-2K-42	-624808.302	-87211.452
2-2K-43	-624807.194	-87222.578
2-2K-44	-624811.866	-87220.796
2-2K-45	-624810.759	-87231.921
2-2K-46	-624815.430	-87230.139
2-2K-47	-624814.323	-87241.264
2-2K-48	-624818.994	-87239.482
2-2K-49	-624812.000	-87259.274
2-2K-50	-624815.448	-87259.873
2-2K-51	-624810.779	-87269.212
2-2K-52	-624813.735	-87269.726
2-2K-53	-624809.558	-87279.149
2-2K-54	-624811.529	-87279.492
2-2K-55	-624807.352	-87288.916
2-2K-56	-624809.815	-87289.344
2-2K-57	-624806.565	-87296.361
3K-19	-624807.119	-87310.963
3K-20	-624808.854	-87309.163

グラウチング（その2）工事

1工区

L=31.575m

グラウチング（その2）工事

2工区

L=18.0m

NO. 7' +17.621

NO. 8' +23.250

NO. 8' +41.250

NO. 6' +36.046

NO. 10' +30.130

NO. 10' +42.130

グラウチング（その2）工事

令和5年度工事  
（施工対象外）

令和5年度工事  
（施工対象外）

地下ダム軸

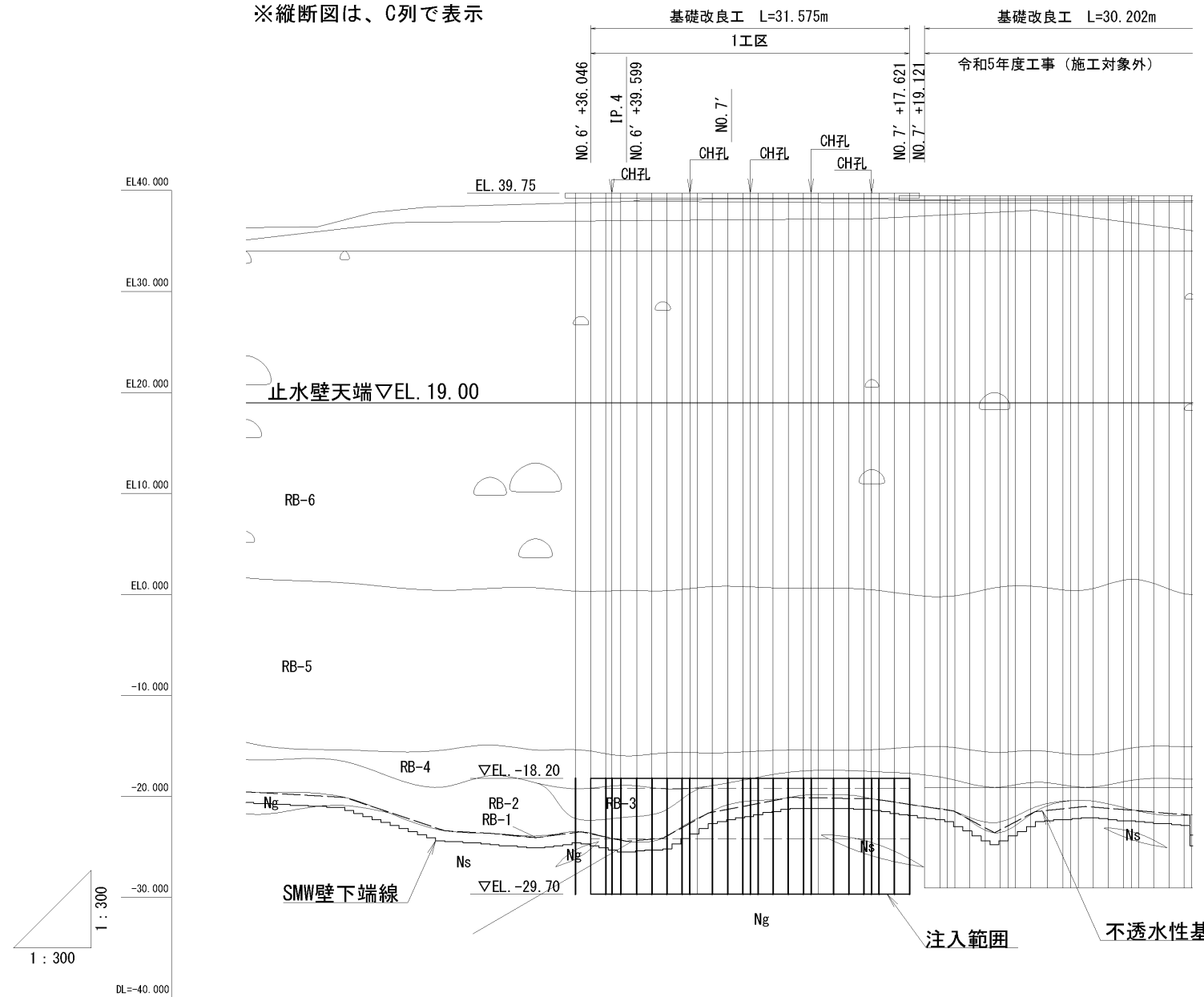
業務名 令和6年度 沖永良部農業水利事業所  
沖永良部地下ダム設計技術検討業務

工事名	令和6年度 沖永良部農業水利事業 地下ダムグラウチング（その2）工事		
図面名	計画平面図		
作成年月日	令和 年 月 日		
縮 尺	1:500	図面番号	2
会社名			
事業所名	九州農政局 沖永良部農業水利事業所		

計画縦断面図（1工区）

S=1:300

※縦断面図は、C列で表示

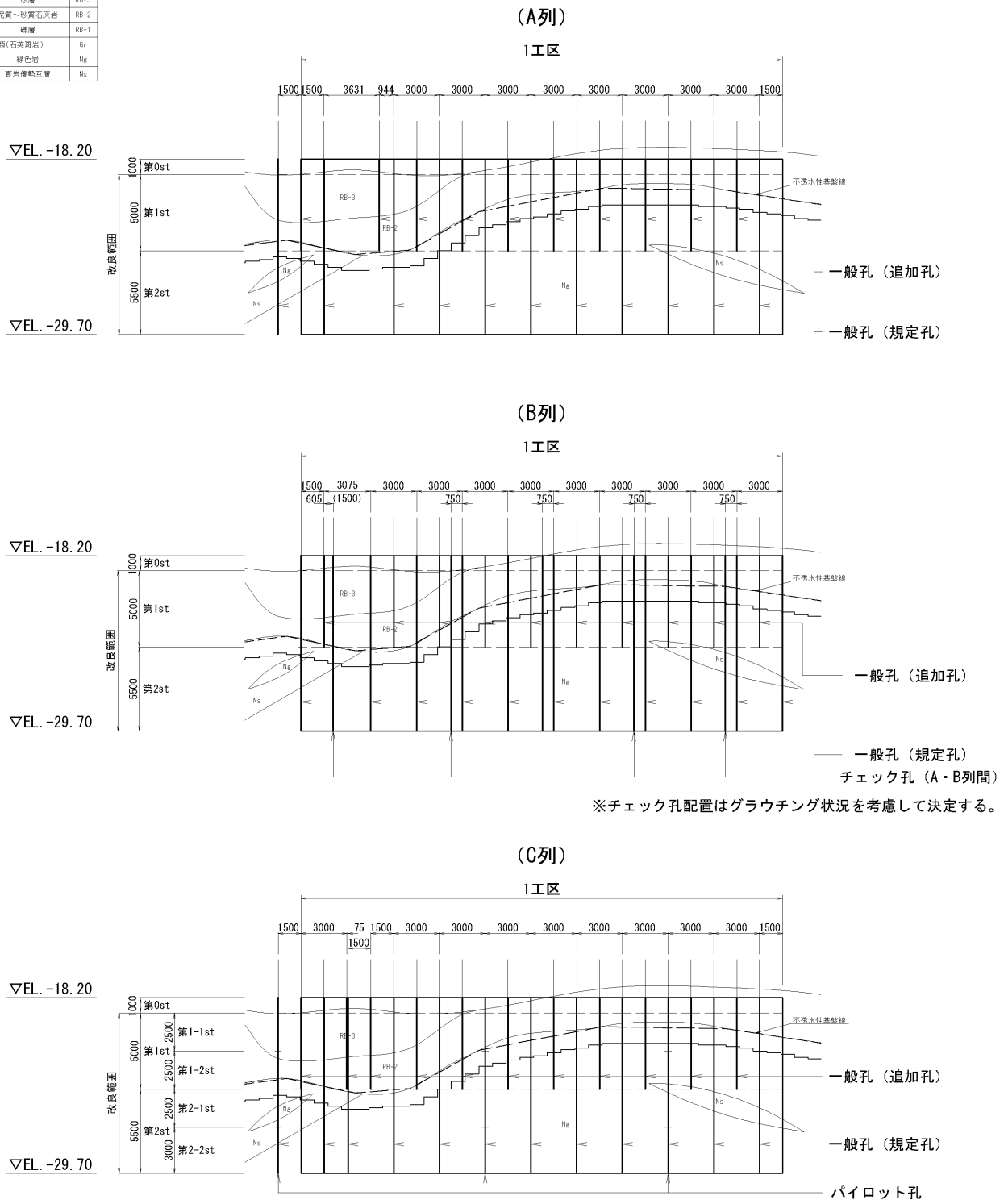


地盤高		38.824	38.920	39.130	39.115	38.770
不透水性 基盤標高		-23.638	-24.450	-20.731	-20.794	-21.594
止水壁 下端標高		-24.900	-25.500	-22.300	-21.900	-22.500
追加距離		0.000	3.553	13.954	31.575	
単距離		0.000	3.553	10.401	17.621	
測点		NO. 6' +36.046	IP. 4 +39.599	NO. 7' +17.621 +19.121		+30.099
ブロック区間		1工区			令和5年度工事（施工対象外）	

凡 例		
時代	地質層序	記号
	盛土	b
	黄土（粘土層を含む）	c
	糸多川(琵琶湖堆積層)	a
	空層(充填物なし)	
地質層	空層充填物	
	花崗～サンゴ石灰岩	RC-3
	砂質性石灰岩	RC-2
	礫層	RC-1
	砂質性石灰岩	RB-6
	大型有孔虫石灰岩	RB-5
	砂質石灰岩	RB-4
	砂層	RB-3
	泥質～砂質石灰岩	RB-2
	礫層	RB-1
先第三紀	花崗岩類(石英斑岩)	Gr
	緑色岩	Ng
	真岩浸蝕互層	Ns

注入範囲詳細図（1工区）

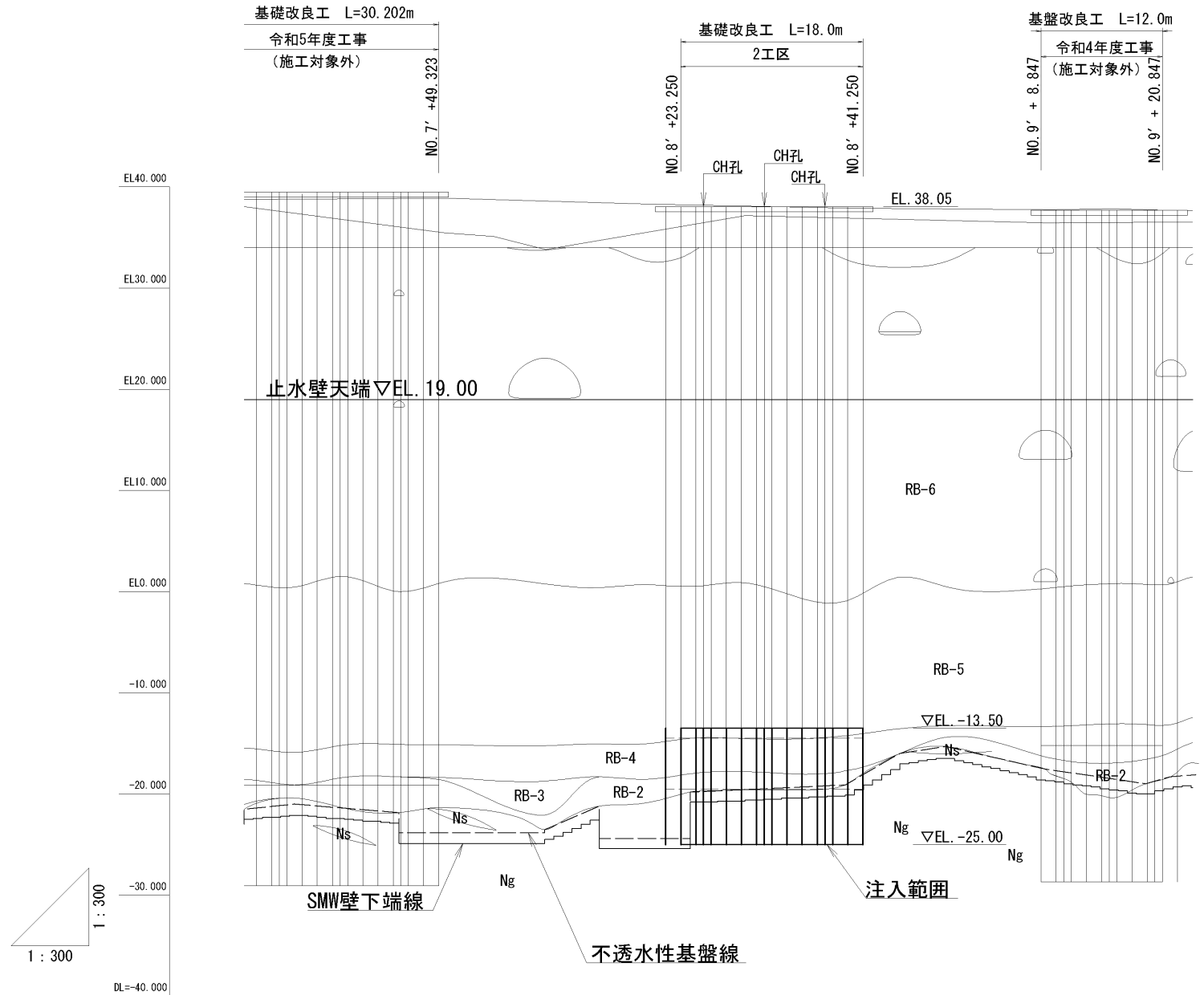
S=1:200



業務名 令和6年度 沖永良部農業水利事業所 沖永良部地下ダム設計技術検討業務			
工 事 名	令和6年度 沖永良部農業水利事業 地下ダムグラウチング（その2）工事		
図 面 名	計画縦断面図		
作成年月日			
縮 尺	図示	図面番号	3 - 1/3
会 社 名			
事業所名	九州農政局 沖永良部農業水利事業所		

計画縦断面図（2工区）

S=1:300  
※縦断面図は、C列で表示

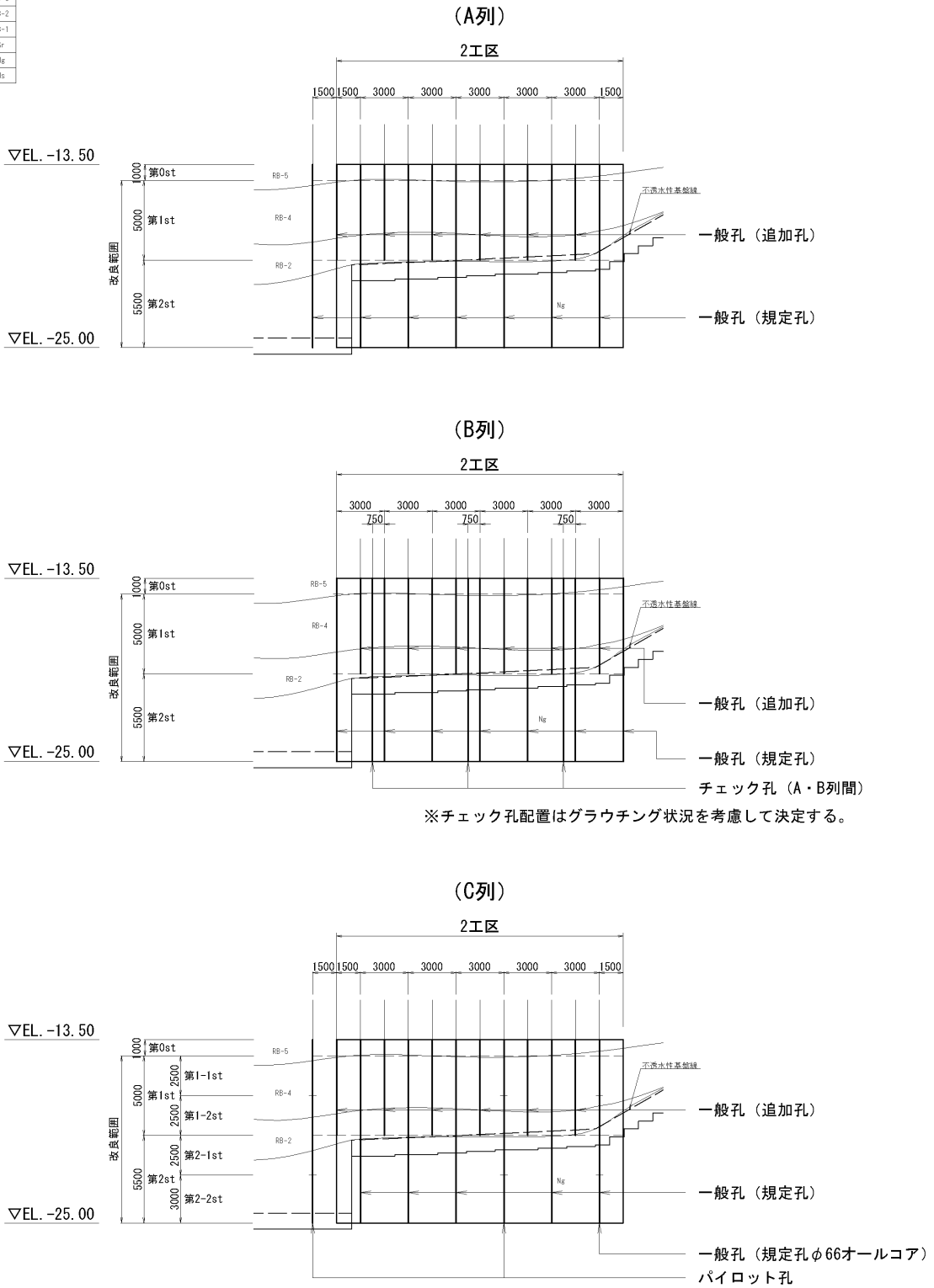


地盤高	38.770	38.886	38.890	38.243	37.891	37.825	37.759	37.712
不透水性 基盤標高	-21.594	-22.256	-23.830	-24.400	-18.095	-15.304	-17.400	-18.745
止水壁 下端標高	-22.500	-24.900	-24.900	-25.400	-19.600	-16.700	-18.700	-19.500
追加距離				0.000	18.000			
単距離				0.000	18.000			
測点	+30.099	+49.323 NO. 8'		+23.250	+41.250	NO. 9'	+ 8.847	+20.847
ブロック区間	令和5年度工事 (施工対象外)			2工区		令和4年度工事 (施工対象外)		

凡 例		
地質層序	地質層序	記号
	盛土	b
	黄土（粘土層を含む）	c
	赤土川(砂礫層)堆積層	a
地盤層	空層(充填物なし)	
	空層(充填物)	
	花崗～サンゴ石灰岩	RC-3
	砂質性石灰岩	RC-2
	礫層	RC-1
	砂質性石灰岩	RB-6
	大型有孔虫石灰岩	RB-5
	砂質石灰岩	RB-4
	砂層	RB-3
	泥質～砂質石灰岩	RB-2
	礫層	RB-1
	花崗岩類(石英斑岩)	Gr
先第三紀	礫別層	Ng
	真岩硬砂互層	Ns

注入範囲詳細図（2工区）

S=1:200



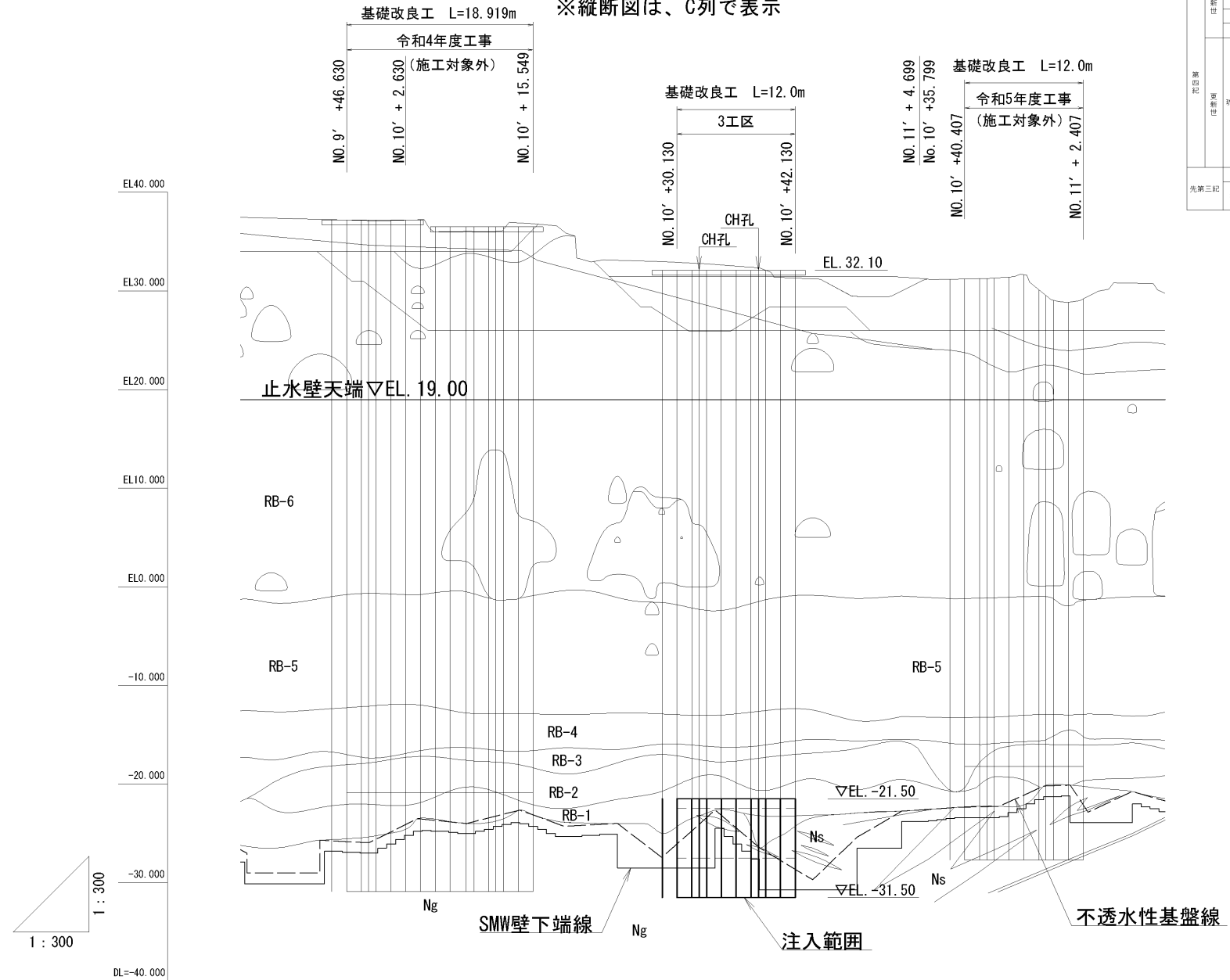
業務名 令和6年度 沖永良部農業水利事業所  
沖永良部地下ダム設計技術検討業務

工 事 名	令和6年度 沖永良部農業水利事業 地下ダムグラウチング（その2）工事		
図 面 名	計画縦断面図		
作成年月日			
縮 尺	図示	図面番号	3 - 2/3
会 社 名			
事業所名	九州農政局 沖永良部農業水利事業所		

計画縦断面図（3工区）

S=1:300

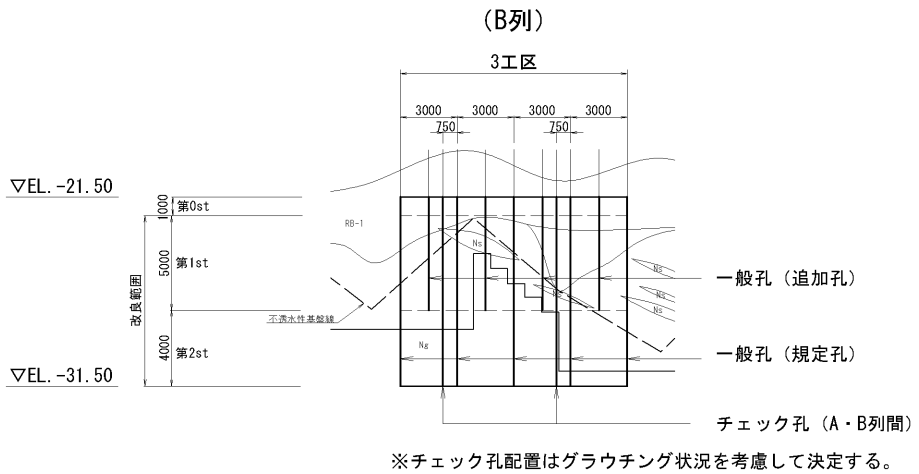
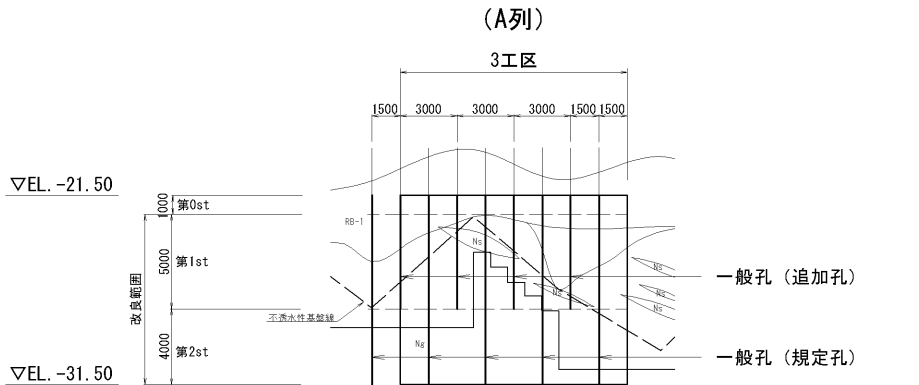
※縦断面図は、C列で表示



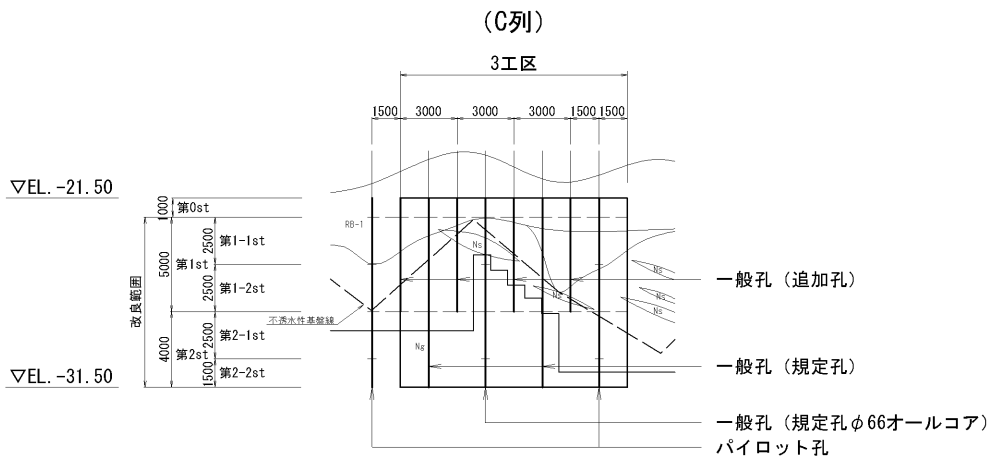
凡 例		
時代	地質層序	記号
自然層	盛土	b
	黄土（粘土層を含む）	c
	赤土川氾濫原堆積層	a
	空層（充填物なし）	
	空洞充填物	
人工層	花崗～サンゴ石灰岩	RC-3
	砂質性石灰岩	RC-2
	礫層	RC-1
	砂質性石灰岩	RB-6
	大型有孔虫石灰岩	RB-5
	砂質石灰岩	RB-4
	砂層	RB-3
	泥質～砂質石灰岩	RB-2
	礫層	RB-1
	花崗岩類（石英斑岩）	Gr
先第三紀	礫別層	Ng
	真岩硬砂互層	Ns

注入範囲詳細図（3工区）

S=1:200



※チェック孔配置はグラウチング状況を考慮して決定する。



業務名 令和6年度 沖永良部農業水利事業所  
沖永良部地下ダム設計技術検討業務

工 事 名	令和6年度 沖永良部農業水利事業 地下ダムグラウチング（その2）工事		
図 面 名	計画縦断面図		
作成年月日			
縮 尺	図示	図面番号	3 - 3/3
会 社 名			
事業所名	九州農政局 沖永良部農業水利事業所		

地盤高	37.860	37.188	37.100	36.040	36.809	31.500	31.500	29.417	30.893	31.225	28.938	29.202	30.790
不透水性 基盤標高	-26.430	-25.831	-24.990	-24.000	-23.132	-24.318	-24.260	-24.444	-22.623	-22.398	-20.145	-20.290	-20.755
止水壁 下端標高	-30.000	-26.900	-26.500	-25.000	-24.300	-28.500	-30.700	-26.500	-23.800	-23.400	-21.300	-23.900	-23.900
追加距離						0.000	12.000						
単距離						0.000	12.000						
測点	+40.000	+46.630	NO.10'	IP.6	+15.549	+30.130	+42.130	NO.11'	+4.699 NO.10' +35.799	+40.407	NO.11'	+2.407	+7.399
ブロック区間	令和5年度工事 （施工対象外）					3工区					令和5年度工事 （施工対象外）		

## 【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	作業実施欄	
		当初	変更
1 作業準備 1-1 資料の検討及び業務作業計画の策定	貸与資料及びグラウチング工事の設計内容を把握した上で、業務作業計画を策定する。	○	
2 現地調査	現地において、令和6年度沖永良部農業水利事業地下ダムグラウチング（その2）工事の施工状況を確認把握するとともに、ボーリングコア観察を行い、改良効果の評価等に必要な施工条件等を確認する。（チェック孔完了時）	○	
3 令和6年度沖永良部農業水利事業地下ダムグラウチング（その2）工事の施工仕様等の検討及び評価 3-1-1 パイロット孔施工結果の評価検証	以下に示す施工仕様等の検討及び評価を行う。  パイロット孔のボーリング結果、グラウチングの施工管理データ（透水試験結果・注入結果）及び孔曲り測定結果に基づき、設計及び施工上の見地から、施工仕様を検討し、助言する。 また、各ブロック（1工区（BL-5）～3工区（BL-7））について検討に必要な以下の資料を作成する。 ①施工前 地質断面図、透水係数図 ②基盤岩上面等高線図 ③琉球層群（RB-1、RB-2、RB-3）上面等高線図 ④止水壁下端の高止まり・根入れ不足箇所の特記	○	
3-1-2 追加孔の検討	各ブロックC列4次孔のグラウチングの施工管理データ（水押し試験結果・注入結果）に基づき、設計及び施工上の見地から、施工仕様及び追加孔を検討し、助言する。 また、必要な解析図表を作成し、最終次数孔の注入効果を評価、検証する。	○	
3-1-3 列完了判断	各ブロックの列（C列、A列、B列）ごとに、一般孔のグラウチング施工管理データ（水押し試験結果・注入結果）に基づき、列完了判断を行う。また、必要な解析図表を作成し、最終次数孔の注入効果を評価、検証する。	○	
3-1-4 チェック孔計画	各ブロックのC列、A列、B列の地質状況、グラウチング状況、根入れ不足箇所、地下水流動箇所を整理し、総合的に検討した結果から、チェック孔計画を行う。	○	
3-1-5 チェック孔による評価	チェック孔のボーリング結果、施工管理データ（透水試験結果）に基づき、必要な解析図表（施工前後の透水係数図を含む）を作成し、グラウチング改良効果を評価する。	○	
3-1-6 グ라우チング改良効果の評価	工事完了後、次数別及び列別に改良効果を評価するとともに、ステージ毎の等価透水係数を検討する。	○	
4 照査	照査計画に基づき、業務の節目毎に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	○	
5 点検取りまとめ	成果資料の点検及び取りまとめを行い、報告書を作成する。	○	